

第6回 下田泥りんピック出場チーム募集

- 日時 7月22日(日) 午前9時～
- 場所 大谷観光ブドウ園 特設会場
- 対象 16歳以上の男女で1チーム8人以上
- 定員 32チーム
- 参加登録料 4,000円(1チーム)
- 競技種目 泥んこバレーボール、泥んこビーチフ
ラッグ、泥んこ玉入れ、泥んこ尻相撲
- イベント 泥んこ宝探し

■申込方法 6月19日(火)までに、申込用紙をFAX
か直接☎へ

※申込用紙は☎に置いているほか、下田泥りんピックホームページからもダウンロードできます。

☎下田学区まちづくり協議会
(下田まちづくりセンター内)
☎75・0011 FAX75・4491

6月1日は人権擁護委員の日

「人権なんでも相談」を拡大して行います

- 日時 6月1日(金)
午前10時～午後4時
- 場所 社会福祉センター、石部老人福祉センター
人権擁護委員は、法務大臣から委嘱を受け、「人権なんでも相談」や街頭啓発、出前教室など、人権の大切さを知ってもらうための活動をしています。
人権についての悩みや心配ごとがあれば気軽に相談してください。

人権擁護委員

井上明保、植西敏生、久保恵美子、小濱美佐子、三大寺幸雄、園田小房、林明美、宮川幸子、山本政美 (五十音順・敬称略)

☎人権擁護課(西庁舎)

☎77・8512 FAX77・4101

☎71・2311 FAX72・2000
☎危機管理・防災課(東庁舎)

防災行政無線による訓練放送を行います。

6月の「アラート訓練は
27日の午後2時頃です」

人権シリーズ

毎年6月23日から29日は
「男女共同参画週間」です

「今どき男女で差別なんてあるの?」「家庭での役割分担は個人的な問題だから」と感じる人もいることでしょう。しかし、女性だから、男性だからといった性差別やそれに基づく不利益は今も多くあります。まずはそれに一人ひとりが気づき、考えることが大切です。

例えば、「#MeToo」。これまで表面化しにくかったセクハラ被害体験をSNS上で共有し連帯することで、セクハラや性的暴行に立ち向かうとする運動です。海外では男女問わず多くの人が賛同し、大きなムーブメントとなりました。ところが日本では、賛同した人が批判の対象になり、二次的な被害に遭うケースがありました。

厚生労働省が平成27年度に行ったセクハラに関する実態調査によると、日本の女性労働者の3割が「セクハラを経験した」と回答するなかで、「我慢した。特に何もなかった」人が6割を占めています。セクハラが黙認されてきた

背景には、日本における女性の非正規雇用の多さや女性管理職の少なさ(＝女性の社会的な地位の低さ)が影響していると指摘する人もいます。セクハラに限らず、当事者の問題と思われがちなものも実は、社会全体の問題につながっており、社会を構成する一人ひとりの問題でもあるのです。

身近にあるかも?!セクハラの芽をチエツク

- 男性社員と女性社員の人数に差がある。
 - 男性と女性の役割分担が、暗黙の了解で決まっている。
 - 自分が我慢すれば済むと思うことは、我慢してしまつ。
 - 体形や容姿について、話題にされる。
 - 「女だから」または「男のくせに」と言われることがある。
- 性別に関係なく輝ける社会をつくっていきましょう。

《今月は人権擁護課が担当しました》